

原口管理者：都市計画に賛成してくれますか。

石井副管理者：今のままでは反対です。

原口管理者：それじゃ全然話にならない。

石井副管理者：いや、だけどできるんじゃないか。

原口管理者：賛成してもらわないとできない。

石井副管理者：安ければやる。

原口管理者：それじゃ議論にならない。

石井副管理者：私は安いか高いかしか考えてない。

原口管理者：高い安いの判断はどこですか。

石井副管理者：総額でわかります。土地の買収から建てるまでの間にいくらかかるか。それくらいの金額はわかりますからね。こっちに立てたらいくらだ、隣だったらいくらだなんてみんな分かる。そこまでの値段は出せるのではないか。

原口管理者：これから何年もかけてそれをやろうというのか。

石井副管理者：何年もかける気なんかありません。

原口管理者：そんな簡単にはいかない。もし予定地を変えるのであれば、これから4、5年かけて環境調査などをしなくちゃならない。

令和6年12月に完成をさせようということで努力しているわけですがけれども、あと5年6年先、令和10年、11年でも構わないということですか。

石井副管理者：そんなに延ばしてとは言っていない。

原口管理者：今からやるとそうなる。

石井副管理者：いきなりなんで10年も延ばすんですか

原口管理者：そうなる。環境調査なんて4年ぐらいかかる。

事務局長：高いか安いかわいだがどこと比較されているか。

石井副管理者：小針を基準には考えている。

原口管理者：一番安いところを探すのか。

事務局長：一番安いところから選定しなおすとするとスタートからということになります。全然そういった事業に着手していないところからですから、10年以上はかかるんだと思われます。

原口管理者：北本市長は小針でもいいんですか。

三宮副管理者：私は鴻巣市とは様々な事業でご一緒させていただいていますので、今すぐ小針でいいかどうかということは言えませんが、様々な形でこれまで一部事務組合をやってまいりましたので、望ましいのは近い方というのは明らかです。ただ、行田市から金額が示されていないので、先ほど60億ほど高くなっているというお話があったんですが、正式に今日聞いた話ですので、このまま、まだ日にちも時間もありますから3市の枠組みで進めていただきたい。ただ、先ほど言ったように、粗見積り、予算取りにしてもちょっとあらっぽい数字なんだろうかと、11社中採用できたのが2社しかないとすれば、もう少しその期間が半年ぐらいあれば取れたのかもしれない。土地についてはあらかじめ場所が決まっているわけですから、それよりも私は本体とかそっちの方に少し疑問を感じております。あとはさっき石井副管理者が言ったことで最もだと思うのは都市計画決定、農振除外、土地購入云々の目鼻が全く付いてないのにこのまま走っていいのかというのは、半年でも3カ月でもちゃんと調べてほしいなというのはあります。

原口管理者：三宮市長から、まだ時間があるというお話はありましたけれども、令和6年12月の完成を目指した時には、今の状況ではかなりタイトである。11月の議会で債務負担行為をやって、それなりの動きをしていかないと間に合わない。1月ぐらいまでには決定していかないと間に合わない。

事務局長：予定ですと3月入札ということですので、入札には予算の確保、裏付けが必要となる。裏付けがない中では入札公告というのはできないというのは法令上の決まりです。

三宮副管理者：それは分かるが、仮に石井副管理者が今言ったことがクリアできなければならぬ、とおっしゃっていますから、急がば回れで数カ月でも遅れても、2月議会というのもあるでしょうし、そんなに時間がないのかというのが、私にはちょっとわからない。1年遅れたらその分色々あるのでしょうけれども、埼玉中部資源循環組合も空中分解したみたいでいますので、埼玉中部環境センターの稼働は少し延ばすとは思いますが、修理費はかさむかもしれないけども、それはそれとして、簡単ではないのはよく分かります。あそこの構成市がばらけた以上また相当の期間は、あの釜を使わないといけないのは事実だろうし、そういう所もみんな上手く考えて、来年オリンピックがあるわけですから、そこがピークとすれば、そういった諸々のこともあるのではないかと。

原口管理者：それでは、建設場所もいろいろなご意見があるわけですから、市長としての判断も重要ですけども、これは全部議会で認められておりますので、各市の議会と一回調整をしていただいて、それで小針にするのがいいのかどうか、それを至急話し合いをしてもらえないですか。鴻巣の今の場所で建設すると、今までも全部決定してきているわけですから、行田市が、どうしてもあそこはだめなんだと言われますので、いかがでしょうかね。今の場所でもいいのか、あるいは小針にした方がいいのか。

石井副管理者：やはり検討を入れるべきだと思いますけどね。

原口管理者：石井市長の方で、行田市議会と相談していただけますか。

石井副管理者：私ですか。

原口管理者：もちろんそうです。

石井副管理者：行田市議会の方だけでいいんですか。

原口管理者：いや、鴻巣市でもやりますよ。もちろん、北本市もどこがいいのか。行田市の話がありますから、本当に小針にした方がいいのかどうかというのは、やはりそれぞれの議会でもう一回再検討してもらうのは重要だと思いますよ。もうこれ以上は議論しても前へ進まないですから。

三宮副管理者：石井市長にはデータ的なものはお出しいただけますか。

石井副管理者：出しますよ。

三宮副管理者：はい、わかりました。

石井副管理者：決まってないことはこうだって出しますので。

原口管理者：では、そういうことでよろしいですか。

今の建設は5億円近くかけていますから、そういうことはちゃんとやった方がいいと思います。

事務局長：今、それぞれ構成市議会で話をさせていただくということですが、組合では11月の定例会に今の予定ですと、債務負担行為を提出するというところで進めております。

原口管理者：債務負担行為の補正を出すのはやめましょう。

事務局長：見送りと言うことでよろしいですか。

原口管理者：無理です。それぞれの行政で結論を出して行きましょう。それからまた、今の段取りでいいのか、まったく別のことで考えた方がいいのか。それぞれの議会と話をさせていただいて、そしていい方向性というものを見出していけたらと思う。よろしいですか。

石井副管理者：ほんとは事務方でももうちょっともんでくれるとありがたいんですけども。

原口管理者：もちろん、参与会議や副市長会議、そういうものを開きながらです。やはり、議会の意見というのは重要ですから。もちろん市長も重要ですけども議会の皆さんの意見、それを確認してもらって、いつぐらいにできるか分かりませんが、それまでは少し債務負担行為の提出はやめると。

石井副管理者：ただ、数字だけは出してください。出さないでただ土地絡みだけでなく、せっかくだから債務負担行為をやった場合に10年間でどのくらいかかるんだとか。23日には出るわけだから。

事務局長：この段階での数字になりますが。

石井副管理者：それでいいですよ。

事務局長：議会の関係等ですけれども、10月28日に債務負担行為の説明会を予定しています。案内も既に出しているんですけれども、そちらは正副管理者会議の議題ということではないのですけれども、正副管理者のご判断を参考にいただきたいと思うのですが、総事業費での説明ということでもいいですか。

原口管理者：それを説明してください。あと業者名は出さないでください。

事務局長：今回、口頭で説明いたしました。まだ入札前ということで、取り扱いには注意をしてください。

原口管理者：あとは議論があるでしょうから、それにはしっかりと答えるようにしてください。

事務局長：分かりました。

原口管理者：次に管理者会議を予定しているのですけれども、それは延期にしてよいか。

事務局長：定例の議案があるので、その部分は議題とさせていただきたい。

原口管理者：分かりました。他にありますか。

事務局長：最後に1点ですけれども、11月5日に臨時議会をする方向である。3市長については秘書課に確認いただいている。議会運営委員会が先週の金曜日18日にあり、議長を含め議会運営委員会で11月5日で調整という話がありました。そこに来られていた議員は皆大丈夫だということですが、他の議員はこれから調整をする。ただ具体的な事務については、28日の全協のその後に再度議会運営委員会を行うということで、そこで議長が議会運営委員会の議決を諮っての招集という方向で今、進めています。

三宮副管理者：地元議会と話し合いするとしてもいつまでがよいか。

原口管理者：早い方がいい。

11月15日が定例会なので、そのくらいまででどうですか。いくらかやむを得ない部分もあると思う。

三宮副管理者：このデータはお出してしていいんですね。業者名は出しませんが、比較する資料がないと議会に説明できないので。

原口管理者：全協が28日で、28日にこの資料を出すのではないか。

事務局長：同じ資料で考えています。

三宮副管理者：そうすると、28日以降の11月15日までに議会側と全協のような形で話し合うということか。そうすると、石井市長のほうからも28日ぐらいまでに、資料をいただければ助かる。

石井副管理者：できるだけ努力します。

小松主査：確認ですが、三宮副管理者からは本日のこの資料を示してよいかという質問でしょうか。

三宮副管理者：10月28日の全協で出したものを提出するという事です。

小松主査：わかりました。

原口管理者：では、今回は10月28日ですけれども、よろしく願いいたします。

事務局長：以上で、正副管理者会議を終了とさせていただきます。大変お疲れ様でした。

閉 会